



所要時間：1～2時間

シナリオの公開：OK

シフターの作成：必須

推薦する関係性：異界対策室の先輩後輩

異界の発生原因：人々の「死とは何か」と考えてしまった

瞬間の漠然とした不安

異界の調査へ赴く物語

このシナリオでは、警視庁生活安全課内に設立された「異界対策室」のエージェントとして、異界に挑みます。

対異界のプロフェッショナルとなり、発生したアクシデントに対処していきましょう。

※このシナリオには、ホラー、及びグロテスクな描写があります。

あらすじ（プレイヤー向け）

このシナリオでは、シフター、バインダーと共に警視庁生活安全課内に設立された「異界対策室」のエージェントとなります。

異界対策室は新設されたばかりの「市民が異界に触れることを未然に防ぐ部署」です。

噂話の調査や、様々な事故現場の事後処理が主な職務なのですが、今回は三日月財団と合同での行方不明者捜索中に——その事件は起きました。

辺り一帯の人々が、突如異界に取り込まれてしまったのです。

それから数日、薄暗がりに沈む異界の街で、どうにか確保したセーフハウスでふたりは生き延びていました。

異界に取り込まれた他のエージェントや民間人の消息は不明であり、姿を見かけても、それはもはや人とは言えないような状況と化しています。

ここは誰もが死と向き合い、己の心をすり減らし、やがて自ら命を絶つ諦観の街。

死の瞬間を何度も見せつけられ、一度命を絶てば、その瞬間を永遠に繰り返し続ける連環の世界。

果たしてふたりは、異界を脱し、無事に現実世界へ帰ることはできるのでしょうか。